

発行所
麻生町1561-9
電話②0811(代)

麻生町役場
蔵印
麻沼幸生

12月15日
No. 252

〈人口〉
男 8,989人
女 9,195人
計 18,184人
世帯数 4,099戸

- 12月のメモ
- 1日 消防団操法競技大会
 - 5日 選挙管理委員会、暮らしのチャリティーバザー
 - 15日 環境保全町民会議総会
 - 19日 工業統計調査打合せ会
 - 20日 営農会議
 - 22日 教育委員会
 - 23日 定例町議会
 - 24日 農業委員会
 - 25日 町民・国保税、国民年金保険料徴収
 - 27日 御用納め

大和第三小

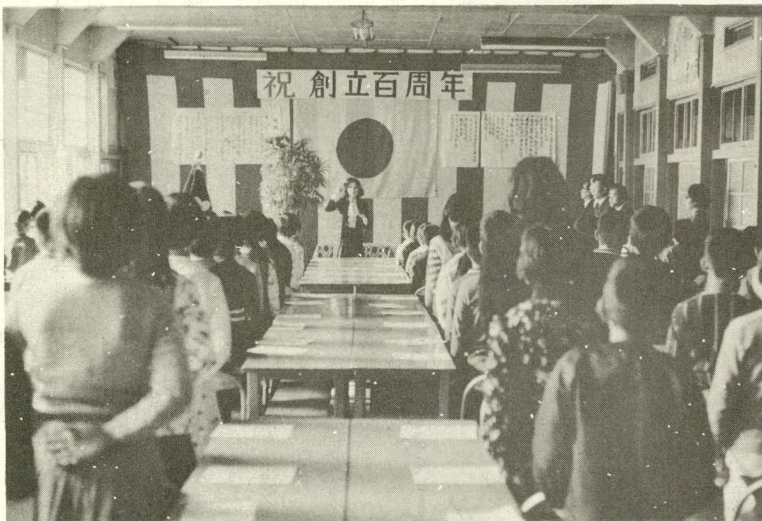
創立百年の記念式典

校章・校歌も誕生



大和第三小学校では、このほど創立百年を記念して、祝賀式典をおこないました。同校は、明治八年四月現在の大字白浜に創立されたもので、今年で百年を迎え、さる十一月二十五日、町当局の関係者をはじめ歴代校長、学区内の各関係者等、約百名が出席して式典がおこなわれました。

また、この意義ある機会を得て、校章と校歌が誕生し披露されました。校章は、元同小学校教諭香取左元先生によって図案化され、校歌は、作詞小沼俊平先生、作曲山内博先生によるものです。



「のびてきたえて世のなかのあらしにまけぬ木となろう……」と力強く校歌をうたう

在宅重度身障者に

福祉手当を支給

在宅重度障害者に対して、福祉手当制度が新しい福祉制度として十月から発足しました。この制度は、在宅の重度障害者に対する福祉の措置の一環として実施されるものであり、その重度の障害ゆえに日常生活において常時の介護を必要とする程度の状態にある生ずる特別の負担の一助として、手当を支給することによ

り、重度障害者の福祉の向上を図るものです。

○支給要件

この手当は、精神または身体に法別表第二に定める程度の重度の障害があるため、日常生活において常時の介護を必要とする程度の状態にあるもので、支給規則第一条に定

める施設に収容されていない在宅の障害者に対して支給されます。施行令第六条に定めるところの廃疾を支給事由とする他の制度による給付を受けることができる者については、併給の調整をおこないます。

○手当額

支給の手当額は、一人につき月額四千円。

○受給資格

福祉手当の支給を受けようとする者は、その受給資格について認定を受けなければなりません。

○支給期間

支給期間は原則として受給資格が認定の請求をした日の属する月の翌月から始め、手当を支給すべき事由が消滅した日の属する月で終わるものです。

○所得等による支給制限

五十年度(例)

本人所得で扶養なしの場合 六十万円以上

配偶者または扶養義務者の所得で扶養なしの場合 六十万円以上

「自動車安全運転センター」

非行防止標語の入選決定

先般募集した青少年非行防止の標語は、応募総数四十点の中から、次の入選が決定しました。

◎入選

親と子が何でも話せる良い家庭

広い心で隣の子にも愛の手を

いつもここにこ明るい親子

良い子が育つ良い家庭

みのがすなあの青少年の危険な遊び

◎佳作

高宮慶子、今泉トシ、永作安憲、今泉幸子、羽生美津子、土子美和

なお、入選、佳作者、ほか応募者には、ライオンズクラブから厚生課を通じて賞金が送られます。

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

交通安全証明書の発行は安全運転センターで

交通事故証明書は、従来事故発生地管轄の警察署長がその業務をおこなっていましたが、五十一年一月一日からは「自動車安全運転センター」

戦没者等の遺族に 特別弔慰金が支給されます

終戦三十周年に当たり、戦没者等の遺族に対し、国として改めて弔慰の意を表わすため、特別弔慰金が支給されることになりました。該当するかたは、役場厚生課で請求の手続きをしてください。

●対象者

1 昭和四十年に制定された「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法」に定める特別弔慰金(三万円)の記名国債(受給した遺族および受給資格があつたが請求しなかつた遺族、ただし、受給資格のあつた遺族の相続人として受給したかたは、今回は受給できません。

2 昭和十六年十二月八日以後に死亡した者(昭和十二年七月七日以後受領し、昭和十六年十二月八日以後に死亡した者を含む)で「戦傷病

3 戦没者等の父母、孫、祖父母、兄弟姉妹

4 前述の遺族がいなくても遺族援護法に定める弔慰金の受給権を取得した者

順位により、昭和五十年四月一日現在で、先順位にある者一人だけが請求できます。しかし、配偶者が遺族以外の者の養子となつたり、婚姻して氏を改めたときなどは、原則として請求できません。

●支給額

二十万円(記名国債、無利子、十年償還、第一回目の支払償還日は、昭和五十一年六月十五日)

●請求期間

昭和五十三年三月三十一日まで。

この特別弔慰金を請求されるときは、印鑑、戸籍謄本、住民票が必要です。請求者本人がおいでください。

●請求できる者の順位

1 戦没者等の配偶者

2 戦没者等の子



ひるも静まりかえっている八甲城址

天正十八年(一五九〇)佐竹氏に滅ぼされて落城し、城跡は今畑地になっているが、その面影を残しています。

八甲城址

行方の台地に、八甲城が今なお当時の面影を残して静けさを保っています。

天慶八年(九四五)常陸大椋平国香の曾孫吉田平四郎忠幹が郡司として行方の姓を賜わり、行方城を構築したものです。その子宗幹に四子あつて小高、麻生、島崎、玉造に分かれ、それぞれ地頭となつた。

元暦元年(一一八四)宗幹は屋島の戦いで滅ぼされ、行方城は廃城となつてしまいました。

藤原氏の末葉、下河辺義親は嘉吉元年(一四四一)足利持氏の乱に敗れて、大椋家に乞うて船子村を治めることになった。のちに下河辺義親は行方古城を修復して八甲城と称した。

麻の広場

消防ポンプ操法競技

矢幡チームが優勝

さる十二月一日、第七回麻生町消防ポンプ操法競技大会が麻生中学校グラウンドで開催され、日ごろの訓練の成果が発揮され、矢幡第二チームが昨年に続いて優勝しました。成績は次のとおりです。

◎成績

小型動力ポンプの部

一位 四二二(矢幡)

二位 九一三(船子)

三位 四一四(根小屋)

四位 一一一(麻生)

五位 四一(矢幡)

自動車ポンプの部

一位 本部(麻生)

二位 三三三(富田)

私の願い

麻生 一 住民

新原町営住宅の附近は、カーブが多く要注意箇所です。最近、追越並びに駐車禁止の標識がで、結構なことと思つています。だが、速度制限

国民年金の特例納付期限は

今月限りです!!

いよいよ国民年金保険料の特例納付の締切日が十二月三十一日に迫りました。特例納付ができる人は、昭和四十八年三月以前に国民年金に当然加入期間がある人で、まだ加入手続をしていない人と、途中で保険料を納め忘れた人に限られます。未加入、未納期間については、月額、九百円の割で納められます。国民年金では、年令によって保険料を納める最低期間が定められています。この期間の保険料を一ヶ月でも納め忘れがあり、ますと将来年金を受ける資格を失つてしまいます。十二月三十一日を過ぎてしまうと特

中小企業労働相談

日時 毎月第四火曜日
午前十時～午後四時
場所 鹿島町平井一八七
茨城県鹿島中小企業労働相談所

中小企業に対する労働相談について、民間労働相談員がその相談に応じています。中小企業における労使関係、労務管理の改善、労働組合の運営等の助言、指導に関することなど、お気軽にご利用ください。

一月の心配ごと相談

日時 八・二十二・二十九日(毎週木)午後一～三時
場所 役場厚生課

一月の年金相談

日時 二十日(火)午前九時

場所 潮来保健所

一月の療育相談

日時 八日(木)午後二時
場所 潮来保健所

短歌

幾年を片目のたるま棚にあり
友の棺にとりすがら離れ離れ
食しくも前と生き来ても面伏す
終の臥床に妻言ひ呉れき
ゆく秋の名残とどむる鈴虫の
六十路まだ老いにあらずと声を張る
子に向ひ母のあせりのときかも
叱る事のみあまりに多き
五人の子育てし過去を憶うとき
死は安けしと寡婦の言ひきる
秋晴れの刈田に遊ぶ白鷺の
静かにいばむ姿やさしき
飛鳥路の棚田のへりに藁塚積みて
柿の実あかき家の並べり
待望の海洋博にさそわれて
一万メートルの雲上を行く

土子喜美子

今月のいけ花



のびやかに

四季を通じて使われる金宝樹は、自由にためやすい花材ですが、つき枝を省略し、できるだけ自然をいかしてのびやかにいけてみました。

黄色いフリジアには軽やかなひろがりをもたせ、交差するカーネーションの線も趣をそえています。

花材/金宝樹、カーネーション、フリジア

花器/足つき変形コンポーター

ねずみ退治

25日

ねずみは、敏感な動物で各自が慢然と殺そ剤を使用しただけでは、効果がありません。その駆除には綿密な計画

戸籍の窓口

おめでとうございます

出生者 世帯主 住所

高崎 友裕 作 三 富田

吉崎 恵美 源三郎

大竹真由美	武	粗毛	金塚具之	静	行方
石神 敏彦	一	麻生	おくやみ	申上げます	所
千ヶ崎茂信	進	唯雄	死亡者	世帯主	住
関戸 雪江	和	麻生	繁七三	郎	富田
宮本 淳子	邦	博	山口	マチ	68文
荒井 秀子	邦	博	志村	きな	51俊
小沼 普徳	克	彦	池田智恵子	4正	志
高柳 友和	卓	男	大槻 かね	62喜	夫
根本 智代	和	和	荒張 知恵	42好	之進
門井智恵子	忠	栄	出沼 まつ	82三	郎
山野 光一	幸	雄	折笠 勇次	64ハ	ル
高崎 清次	徳	行	小島 晃	54常	夫
荒野 洋光	広	白	長峰 喜一	72喜	久男
行方佐和子	貞	男	柏葉 祐	64	昌
千葉 浩司	金	蔵	中野 弥平	59ふ	み
永沢 祐一	貞	次郎	宮内 孝治	54し	な
市村 美穂	金	次郎	宮内 清	82次	男
羽生 真一	章	南	庄司 満	81宮司	巧
石川のぞみ	四	郎	橋門 笹川	はま	84一
高塚 秀之	寛	門	浜田 源助	92好	雄
岡野美由紀	庄	次	中城 金一	37静	子
大橋久美子	清	亀	椎名	金一	37静
			子	五町	田